

# 県道取手東線 「片町交差点」の整備 前進

県道取手東線の整備が進む中、取手東工区（片町）と新道工区の接点、狭くて危険な「片町交差点」の整備が待たれています。当初の県の計画は、交差点部分の整備が計画にないことから、日本共産党の上野たかしさんと党市議会議員団は現地調査の上、5月20日県庁に出かけ、通学路の整備・安全対策、片町交差点の早期整備を求めています。6月市議会でも、鈴木きよし議員の、「早期整備を県に求めよ」との質問に、市は「県に求める」と答えていました。



県議選予定候補  
上野たかし



片町交差点を通る通学中の児童たち

## 通学路整備は最優先で

日本共産党は、「交差点の早期整備を」求め、学校関係者・近隣町内会のみなさんとともに署名運動を広げています。そんな中、8月22日、日本共産党の大内久美子県議に、県土木部から「通学路の整備は最優先で、片町交差点の整備をすすめる、すでに県竜ヶ崎工事事務所で、用地の買収交渉に入っている」と要望に応えた連絡がありました。

## 来年6月完成を目途に

県の見通しでは、「本年度予算で、用地買収・工事着手まで進めたい」としています。

竜ヶ崎工事事務所では、県道取手東線東工区（片町）工事を、今年度中の工事期間で6月には工事を発注していますが、東電やNTT、ガス会社の埋設物移設工事の遅れによって来年6月ごろ完成を目途に、合わせて交差点工事を行うことを明らかになりました。



東工区（片町）の整備図面

## 引き続き早期整備へ 署名にご協力を

みなさんと力を合わせた運動が通学路の整備実現へ前進しました。なお、今、ご協力頂いている署名は、交差点の早期整備を進めるため工事着手までさらに広げていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

